

一之宮まち協だより

第30号

平成28年11月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

プロバンドバックに「昭和歌謡のつどい」

昭和の歌謡曲が懐かしいだけでなくその良さが見直されてブームになる中、まち協では文化教養部が主催

して「昭和歌謡のつどい」を開催し、参加した約150人がプロの生バンドをバックに歌声を響かせました。



アンコールでは一之宮の受講生が前に出て「高校三年生」をみんなで合唱



歌詞を見ながら昭和歌謡を歌う参加者

このつどいは、生涯学習講座「昭和歌謡教室」講師の中島良晴さんの縁で、中島さんの声掛けで結成された現役のプロのミュージシャンによるバンドが伴奏を務めました。つどいは3部構成で行われ、1部と3部はバンド演奏、2部では「美しい十代」など10曲を参加者が生バンドをバックに歌いました。カラオケとは違い、歌の上手下手に関係なく、歌が苦手でも歌うことができるのが魅力で、参加者は迫力ある本格的な生伴奏に合わせながら、若かりし頃にはやった歌の世界に浸っていました。

アンコールでは歌謡教室の受講生も前に出てバックコーラスを受け持ち、舟木一夫の「高校三年生」を全員で熱唱してつどいを閉じました。

第1回飛騨位山トレイル 430人が大自然の中を駆け登る



ボランティアとハイタッチをして走るランナー

天空遊歩道のアップダウンを通り川上岳へ、そこからツメタ谷林道の登山口にあるツメタエイドで一息。そこからツメタの大イチイまで下った後、一気に400mの急登！再び天空遊歩道に出て、今度は位山に戻り、あとはモンデウススキー場のグレンデを下り、牧草地の斜面を駆け下ってゴール！

結果は、高山市からはショートコース男子の1位に谷口善隆さん、3位に地元一之宮の谷口晴基さん、ロングコースに高山市出身の谷口幸治さんが入賞し、飛騨牛などの賞品が授与されました。

厳しい登り下りもあるコースながら、ショートコースは100%、ロングコースは95%の完走率で、出場者のレベルの高さとコースの走りやすさが伺えました。

参加したランナーからは、「地元の方、特に中学生の応援に元気をもらった」 「景色もよく走りやすいコースで、楽しめた」 「大イチイからの登りは厳しかった！」などの意見が聞かれ、初めての大会とは思えないほど高い評価を得ました。



川上岳目指して走る選手

10月22日、紅葉真っ盛りの位山・川上岳を舞台に、第1回飛騨位山トレイルが開催されました。モンデウス飛騨位山スノーパークをスタート・ゴールとして、位山山頂を往復するショートコース(12km)と、位山・川上岳・大イチイを回るロングコース(33km)に、約430名が挑戦しました。

運営は、一之宮町地域の人で組織する実行委員会を中心に、まち協など各種団体、保育園や小中学校も協力する町内一丸となつての態勢で、全国からのランナーを迎えました。

朝7時30分、高山市長の号砲でロングコースはスタートし、さわやかな朝の空気の中、グレンデを横切り荻安林道に向け250余名が駆け出しました。

林道終点から位山まで駆け上り、

まちよな



発足当初からの見守り活動 野球、ソフトで長年活躍

中藪 七良 さん (山下下)

今回は、「一之宮町子ども見守り隊」の山下下在住の中藪七良さん(76歳)です。

一之宮町子ども見守り隊で、スクールサポーターをしてみえます。発足当初から始められ、10年以上になるそうです。朝7時頃から山下下、駅前の10名の小学生と一緒に歩いて、本通りまで送ってみえます。集合場所は、お旅山の下、踏切のあるところです。そこは坂道で道路に歩道が無く、カーブしていて見通しの悪い所です。また、踏切は狭く1台の車しか通れないところで歩く子どもたちは、車をよけて線路を渡って来ます。集合時刻頃には、列車が通り、慌てて渡ると危険なところですから。そんなところで毎日、子どもたちを見守っていただけに感謝します。

中藪さんは、「子どもが元気に、立派に育ってくれるのが願い。子どもたちは地域の大切な宝。子どもは可愛い。」

みんなで見守っていかねければ」と目を細めて語って見えました。そんな奉仕精神に「まちよな」を感じました。

ところで、中藪さんは地区のソフトボールが盛んだった当時、山下下地区で投手として活躍されました。本格的な野球フォームで速球を操り、私も全然打てなかった思い出があります。そうですね、中藪さんがよく学校のグラウンドで野球練習をしてみえたのを覚えています。地区ソフト大会では、3年連続優勝したことがあったそうです、50代の終わりまで投手として活躍されました。

高校時代は、斐太実業高校(今の高山高校)の硬式野球部で、外野手として甲子園をめざしたそうです。しかし、岐阜県は県岐阜商が全国制覇するほどの強豪揃いで、夢はかなわなかったそうです。

仕事を退職した後も高山市のチームに属して、還暦野球もやってみえました。そして、少年野球の初代監督やママさんソフトの監督も務められたスポーツマン。今も、散歩をして身体は鍛えているそうです。

現役を退いても趣味は野球で、今はテレビ観戦。昼間は畑仕事ぐらいしかしていないと謙遜されますが、時には5Kmの散歩をされるそうです。

今も元気にいられるのは、若いころから鍛えていたからと言われました。これから寒い冬に向かいますが、体に気をつけて見守り活動よろしくお願いします。(山腰)



早朝から登校時の見守り活動に向かう中藪さん

川-エッセイ

19



飛騨位山トレイルの成功に感謝

森本 文夫 さん

第1回飛騨位山トレイル実行委員長 本通上

わたしは昔からスキーに携わっており、モンテウススキー場にも深く関わってききましたが、モンテウスや位山について夏場の活用をできないか、ずっと考えていました。

数年前、同じような思いを持つ有志で語り合う中、山を駆け回る『トレイルランニング』という競技があることを知りました。位山には、豊かな自然とその中を通る登山道もある、位山でトレイルができるんじゃないか、ということで検討を進めました。トレイルに詳しい方や、登山関係者の意見を聞く中で、位山周辺には魅力的なコース(登山道)があることがわかってきて、これはいけそうだ、と感じました。

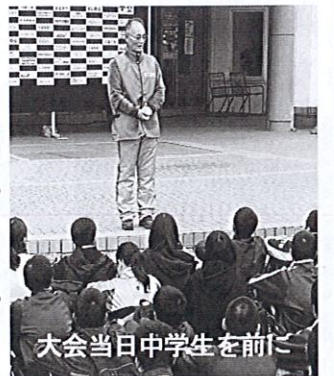
実行委員会を組織したのは今年の春。初めてのことで手探りでスタートでした。各地のトレイルラン大会の情報収集をしたり実際にやっている大会を視察したり、また、愛好家に呼びかけて試走会を企画・実施しました。試走会ではコースの評判がとても良く、開催実現に向けた手ごたえを感じました。その後、関係者を集めての検討会議の開催を重ね、また試走会も合計3回実施し、飛騨位山トレイルの全体像が徐々

にまとまってきました。それらの準備作業が次々と重なり、あっという間に本番当日が来ていたような気がします。

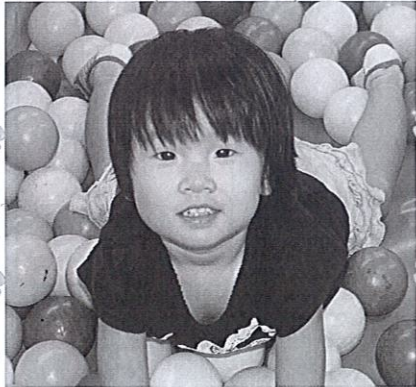
大会当日、まだ夜も空けきらぬ早朝より、地元ボランティア、中学生の皆さん、町外から遠路駆けつけていただいたボランティアの方、関係機関の皆様など、本当にたくさんの方が大会実施のために集まっていたのを目にし、感無量の思いでした。

第一回飛騨位山トレイルは、準備段階から当日のスタッフまで、一之宮町の各種団体や保育園、小中学校など、皆さん協力していただき、一之宮町全体で取り組めた大会になったと思っています。それら皆様のご協力の賜物として、ランナーの完走率は97%と高く、またランナーから感想を伺うと、エイドや応援、コースについても、高い評価をいただいています。これもひとえに、一之宮町の人や自然の持つパワーと魅力の高さが証明されたのだと思います。

来年は、もっと多くの地元の方にスタッフとして、あるいはランナーとして関わっていただき、もっと魅力的な大会になるよう進めたいと思っています。皆さんもぜひ!



大会当日中学生を前に



あき 明 希ちゃん 平成26年9月28日生まれ

お父さん: 吉川 礼さん 《問坂下》
お母さん: 吉川 奈里さん

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

「明希」という名は、パパが付けてくれました。明るく希望に満ちた人生を送れるように、そして、いつでも明るく笑顔を忘れずに周りの人に希望を与えられる人になって欲しいという願いが込められています。

最近「あきちゃんがやるの!」と言い、ズボンをはいたり、箸でごはんを食べたり、なんでも自分でやろうとします。少しずつ、自分一人で行えることが増え、とても得意です。毎朝、仕事に出かける時に「気をつけてね。」と送ってくれます!

あきちゃんの笑顔のおかげで、じいじとばあば、パパとママも、毎日明るく過ごせます。

『ぼくのなまえ☆わたしのなまえ』に紹介するお子さんを募集しています!
詳しくは、まち協事務局(公民館内) ☎53-2424・
✉miyamachikyohidatakayama.ne.jp

お知らせコーナー

■ **認知症講座開きます**
加齢とともに増加する認知症。でも適切な対応をすることで症状を軽減したり、認知症を予防、発症を遅らせたり

することができます。そんなお話の講座を開きますので、ぜひ多くの人に参加していただくと幸いです。

◆日時：11月18日(金)
午後7時30分～9時

◆会場：一之宮公民館
◆講師：デイサービスセンター八光苑職員



■ **野良猫への餌付けやめて!**
「野良猫への餌づけ」の苦情が支所へ複数寄せられています。

こうした餌づけ行為は野良猫を大幅に増やし、人や生活環境(住宅や農作物、ごみ集積場など)に直接被害を及ぼす原因となるため絶対にしないでください。

また、ペットを飼育する際はルール・マナーを今一度確認し、最後まで責任を持っていただくようお願いいたします。

◇ **猫を飼う際のルール・マナー**

- ・「ふん・尿」「鳴き声」「庭やゴミを荒らす」といった猫による被害や迷惑を及ぼさないよう、猫の本能・習性や生理をよく理解し、責任をもって終世飼う
- ・室内飼育が難しい場合は次のことに努める。
首輪等による飼い主の明示
不妊・去勢手術の実施
決まった場所での、名札等を付け飼い主を明らかにする。
- ・交通事故や感染症など屋外での危険から飼い猫を守るためにも室内飼育に努める。
- ・野良猫や飼い主のわからない猫には餌を与えない。



pixta.jp - 5564574

■ **「宮っ子みんなの公表会」のお知らせ**
宮小学校、宮中学校では地域の方々に児童生徒の学校での様子を知っていただくこと、公表会を次の通り開催します。

この機会にぜひ小中学校へご来場いただきますようご案内致します。

◆日時：11月21日(月) 時間と会場は下記の通りです。
◆会場及び日程(時間は午後)

1:15	2:00	2:15	3:05	3:15	4:15
受付	宮小学校 公開授業 全学級公開	移動	宮中学校 公開授業 全学級公開	移動	全体会(宮中体育館) 児童生徒による 成果発表
					講師

一之宮短歌会作品より

文芸誌37号に掲載された作品から紹介します。
三木藤次郎
生かされて八十路の坂を登りつつ
今日ある我の命を思う
喫茶店の何時もの席で語り合う
友の助言を受けて安らぐ
永田和子
お別れに「愛の賛歌」を歌えとの
遺言残して君は旅立つ
美しき華に埋れて眠りたる
君に捧げん「愛の賛歌」を
森本浩資
珍しきフウセンカズラ所望して
はや三十年そそと咲きおり
巨星墜つ玉を手玉に最後まで
ラケット握れば誰にも負けず

図書館だより

へ一之宮分館 雑誌・図書リサイクルのお知らせ
保存期間が過ぎた雑誌、不用となった図書を無料で提供します。
期間：11月1日(火)午後1時～3日(木)祝午後5時
リサイクル資料を持ち帰るための袋を持参してください。
資料が無くなり次第終了します。
《今月の特集》
★絵本「大きくなったら…」
大きくなったら何になるのかな？
子供たちの夢を広げる「おしごとえほん」を紹介します。
《おはなし会のご案内》
11月19日(土)午前10時30分～
スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込み不要です。お気軽にご参加ください。
【予告】一之宮分館 おはなし会スペシャル
日時：12月3日(土)午前10時～11時
場所…一之宮公民館 和室
内容…お話玉手箱さんによる楽しい絵本の読み聞かせ・簡単な工作

～公民館から～

■ **展示コーナー**

生涯学習講師作品展
(12月末まで)

■ **11月の公民館定休日**

4(金) 14日(月) 24日(木) 28(月)

■ **11月の位山交流館定休日**

7(月) 14日(月) 21日(月) 28(月)

つぶやき
今年秋の長雨で稲の刈取りもなかなかままならず、焦ってみえた方も多いようにみえます。10月末になり、ようやく水田に稲がなくなりまし。出来はどうだったのでしょうか？とにかく刈ってしまったという思いは、とにかく書いてしまわないと、という原稿づくりの焦りに似たものがある気がします。(やま節)

編集後記
今年初めてのトレイルランも位山山頂で見る事ができました。中学生も水分や塩分等の提供や声援を送っていました。選手たちも応援を受けて力づけられ走って行くように見えました。見ている私も彼らの頑張りや気分がよくなるのを感じてきました。30年前の体力があれば、出たいと感じました。一之宮の選手もみえました。参加することに意義があるという気持ちがありました。(山腰)

一之宮町の人口情勢

10月1日現在・単位：

世帯数	818戸		
年齢	男性	女性	合計
0～14歳	178	162	340
15～64歳	682	714	1,396
65歳以上	345	472	817
合計	1,205	1,348	2,553

21	18	12	9	7	3	3～1	日
月	金	土	水	月	木	木～火	曜
町内会長・班長会(公民館)	認知症講座(公民館)	サタデイサークル	チエアイクサイス(公民館) 以降午前3回、夜2回	昭和歌謡教室(公民館)	結婚相談(交流館)	行政相談・心配ごと(公民館)	行事内容
							一之宮町文化祭

11月の行事予定

班対抗ソフトボール大会 10チームで優勝は問坂下

ここ2年間マイマイガの影響で開催できなかった毎年恒例の班対抗ソフトボール大会が9月12日から宮小学校グラウンドを会場にナイターで行われ、10月15日の決勝戦で終了しました。

まち協体育では事前に各班にアンケートをとって意向を調査し、その結果実施されたもので10チームが出場しました。うち3チームが班合同チーム。

今年は9月には台風の影響で雨の日が多く延期が相次ぎ、10月に入って無事大会を終えることができました。

結果は次の通りです。(中畑) 優勝Ⅱ問坂下、準優勝Ⅱ洞下



優勝した問坂下班のみなさん

熟練の技と味を堪能

女性部位山が新蕎麦楽しむ

女性部位山地区は10月13日に「手打ちそば中仁」で「新蕎麦(そば)を楽しむ会」を行います。



出来立ての新蕎麦を味わう参加者

した。

高根町日和田産の蕎麦粉8割と小麦粉の2割を水で手際よく練り上げ、打ち粉をたっぷり使って、伸ばして切る、といったまさしく熟練の技を間近に見ることもでき、その素晴らしさにも堪能しました。

打ちたての新蕎麦は、腰があり風味も良く参加者は美味しくいただきました。さらに「蕎麦がき」で温まり、至福のひとつきを満喫しました。(牛丸)

市制施行80周年イベント

一之宮地内7キロコース歩く

高山市制施行80周年記念事業のウォーキングイベント「みんなで歩こう! いちのみや」が10月2日に行われました。雨の日が続く天候が心配される中、この日は晴れて、100人余りが参加しました。

コースは一之宮屋内運動場をスタート地点に、臥龍桜公園、水無神社、宮トンネル工事現場、往還寺などを見て廻る約2時間

7キロのコース。

水無神社では田口禰宜(ねぎ)から「みぬし」から「みなし」となったなど水無神社の呼び方の由来などを聞き、トンネル現場では人口近くまで行って巨大な掘削機械などについて説明を受けました。また、往還寺では内記住職から寺の歴史について話を聞きました。

閉会式ではビンゴゲームも行われ盛り上がりしました。(山腰)



往還寺で内記住職の話を聞く参加者

「お宮さん」もっと知ろう

「わが町の文化遺産巡り」

まち協文化教養部主催の第6回「わが町の文化遺産巡り」が10月10日に約40人が参加して行われました。

今回は来年度の水無神社大祭を前に、「お宮さん」についてもっと知ろうと、会場を水無神社に絞って、その歴史学習を中心に開かれました。

境内にあるねじの木や神馬、銀杏の木、チバカの桂などについて宮歴史クラブ員や山腰曠さ



境内で演じられる野添さんの紙芝居

んらから説明を受けました。

江戸時代の大原騒動については、野添幸夫さん手づくりの紙芝居を本人に演じてもらいました。その後、57年前の大祭の様子をビデオで見たり、牛丸宮司から水無神社について話を聞いたりして、一之宮水無神社について見聞を広めました。(山腰)



事前質問者にプレゼントされた「みなし君」

高山新駅舎完成祝って

宮保育園児が踊り披露

JR高山駅の新駅舎及び東西自由通路の完成祝賀会が10月1日に現地で行われ、宮保育園児も参加して踊りを披露し完成を祝いました。

この日は多くの市民が集まり新駅舎に入ったたり自由通路を歩いたりしました。宮保育園からは年長児19人が参加して龍華保

育園、こまくさ保育園の年長児とともに自由通路の西口で完成を祝って踊り、くす玉を割って市民や観光客から喝さいを受けていました。



駅舎自由通路西口で踊る園児

宮小中が音楽交流会開催 力強さのある合唱に感動

宮小中の音楽交流会が10月27日に宮中体育館で開かれました。交流会には小中学生のほか宮保育園児も参加して、宮小3・4年生の合唱、宮中3年生と中学全員の合唱を聞きました。これらの曲は今年3日の一之宮文化祭でも披露されます。



力強い響きの中学生全員の合唱